

キラリ熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

FIFA U-17女子ワールドカップにチーム最年少で出場！



U-17 日本女子代表
福島望愛さん

サッカーへの情熱と 努力で世界に挑戦

深谷市出身の高校1年生福島望愛さんは、令和6年10～11月に開催された、サッカーの世界大会である FIFA U-17女子ワールドカップ2024 に日本代表として、チーム最年少で出場しました。

福島さんは小学校2年生のときにサッカーを始め、中学校1年生から『JFA（日本サッカー協会）アカデミー福島』に所属し、現在も寮生活をしながら、サッカーに打ち込む毎日を送っています。

ワールドカップでは、「日本代表として招集され、現地での生活やトレーニングを重ねるたびに、代表選手としての責任の重さを感じましたが、試合では緊張せずプレーすることができました。」という福島さん。また、プレーヤーオブザマッチ（試合で最も活躍した選手を選定）を受賞した



▲FIFA U-17女子ワールドカップ2024の1回戦のポーランド戦でプレーをする福島さん

ポーランド戦の後は、「チームの信頼を得られたと同時に、次の試合から相手のマークが激しくなりました。毎試合、より良いパフォーマンスをしたいという思いが強くなりました。」と話す姿からは、プレッシャーを跳ね返し、強い精神力で試合に挑む姿が伺えます。続けて、「さまざまな状況をシミュレーションしてから試合に入るようにしています。試合中も常に多くの選択肢を持ち、どんなことが起きても平常心でプレーするようにしています。」と大舞台でも力を発揮するための秘訣を教えてくださいました。「毎日のトレーニングで技術を磨き、海外で戦える力をつけていきたいです。」と今後の目標を語った福島さんは、未来を見据え、目標に向かってひたむきに進んでいきます。

『農業』で

深谷を元気に！

Agritech Award2024を開催しました

深谷市の農家が抱える農業課題を解決する企業・技術（アグリテック）を集める取り組みである、『Agritech Award2024』を実施しました。

第6回目の開催となる今回は『農業×〇〇＝未来』をテーマに、過去最高となる合計31件の応募がありました。

令和6年11月21日に実施された最終審査により、最優秀賞をはじめ各賞が決定し、12月18日に市役所で表彰式を開催しました。

『Agritech Award』に提案された原石の中から、将来、深谷市の農業現場で輝くアグリテックが出てくることが期待されます。



▲Agritech Award2024ファイナリストの皆さん

Agritech Award2024 審査結果

《最優秀賞》

EF Polymer(株)

《優秀賞》

積水樹脂(株)

《協賛企業賞》

【シタラ興産賞】(株)ダイワ

【埼玉りそな銀行賞】(株)アイナックシステム

【神鋼鋼線工業賞】(株)ダイワ

《Grand Farm賞》

EF Polymer(株)

《ファイナリスト賞》

EF Polymer(株)、積水樹脂(株)、(株)ダイワ、(株)アイナックシステム、TrueAlgae社、(株)エンドファイト

ファイナリストの提案内容や深谷市のアグリテックへの思い、これまでの取り組みなど、深谷市のアグリテックに関するさまざまな情報は、公式ホームページ『DEEP VALLEY』（右記QRコードからアクセス）に掲載しています。ぜひご覧ください。
※深谷市はアグリテック集積都市『DEEP VALLEY』を目指し、さまざまな取り組みをしています。



ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる

ふっか 散歩

100 友好都市巡り～新潟県南魚沼市編～

今回は、新潟県南魚沼市を紹介するよ。旧六日町にあった、『深谷市立山の家』をきっかけに深めた交流が縁で、友好都市になったんだ。まずは『牧之通り』。ここは江戸時代の宿場町の風情を味わえる場所だよ。南魚沼市には珍しいお祭りもあるみたい！さっそく見てみよう！



▲毎年2月第3土曜日に行われる『しおざわ雪謡まつり』。一面の雪の中で燃え盛る大護摩と祈禱は迫力！雪国でしか見られない情景に魅了されること間違いなしだね。



▲祭り会場には、たくさんのろうそくが並んで、幻想的な雰囲気も感じられるよ。



▲毎年3月第1土曜日に行われる重要無形民俗文化財の『越後浦佐毘沙門堂 裸押合大祭』。除災招福や五穀豊穡などを願って、男の人たちが激しく押し合う姿は勇壮だよ。約1,200年前から受け継がれているんだって。

ふっかちゃんの つ・ぶ・や・き

23日(祝)に「ふかやシティハーフマラソン」が開催されるよ！ランナーのみんなをぜひ沿道で応援してねえ！Y(o0w0o)Y



心の広場

思いやる大切さ

明戸小学校6年(現中学校1年)
岡田 琉良 さん

先日の全校朝会で、校長先生が人権についてお話をされていました。ぼくは、その言葉を聞いて思いやりの大切さについて改めてわかりました。

例えば、あいさつをすることや、落とし物を拾ってあげることなども相手を思いやることにつながると思います。

社会の授業では、国民主権や平和主義、基本的人権の尊重について学習しました。いまだに黒人差別やアイヌ民族差別、男女差別があることに驚きました。社会的な問題になっているのにも関わらず、解決までに長い時間がかかっていることが悲しいです。

ぼくはラグビーを習っています。小学校三年くらいのころに深谷市の大きなスポーツ大会がありました。『絶対に勝ちたい』という気持ちで試合に臨みました。

チームで足が速いA君がいました。その子にたくさんボールを集めれば得点をたくさん取れると思い、A君にボールを集めました。けれどA君はあまり得点が取れませんでした。B君は怒ってしまい父さんにも怒られて、もやもやしていました。

足が速いという理由でA君にボールを集めていたのはちょっとちがったな、と感じました。

スポーツでは実力だけでなく、チームワークも大切だと実感しました。一人ひとりのやる気やがんばりを認め合えるチームは、相手を思いやることができるチームだと思いました。『絶対に勝ちたい』という気持ちと、おたがいに相手のことを思いやることができると、力が発揮できると思いました。

今日見たDVDでは、運動会で大縄とびをするクラスのお話がありました。大縄とびが苦手な子が応援係になって跳ばないか、優勝は難しくても一緒にとぶか、クラスみんなで迷っていました。いろいろな意見が出た中で、一緒に跳ぶことになりました。みんなが楽しみ、順位関係なく跳べばいいと思ったクラスはすごいと思うし、これが「相手を思いやる言葉や行動だな。」と思いました。DVDの中では、応援係となっていた子も、「自分もやりたい。」と自分の気持ちを周りに伝えられたこともすごいと思いました。

みんなが幸せに暮らしていくためにぼくにできることは、ルールを守ることや身の周りの人権を大切にすることだと思っています。

